隔月刊
第 18 号
2015年1月発行号

小林のぶゆき

見える
わかる
変わる

今こそ横須賀を私たちのものに

横須賀市議会議員 小林伸行の議会活動報告

無所属39歳

発行人 小林伸行
住所 野比2-13-18
Fax 046-801-2177
移動事務所 ☎070-6640-3927
info@kobayashinobuyuki.com
Web http://kobayashinobuyuki.com

小林のぶゆき 検索

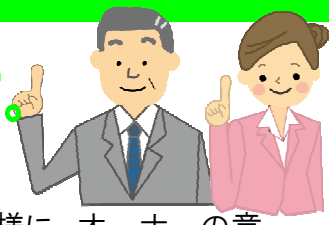
BLOG

野比在住。昭和50年9月3日、福島県生。筑波大学卒。地域情報誌と環境コンサルティングに携わるが、地域の疲弊と日本の将来を憂い、政治を志す。政策秘書試験合格後、衆議院議員長島一由(前逗子市長)公設秘書として修行し、2011年4月より横須賀市議会議員。マニフェスト大賞でも3年連続で受賞するなど政策派として活躍

第一特集
今年4月は株主総会。株主は、あなたです。

第二特集
小林のぶゆき、もう一度、挑戦します。

第一特集 今年4月は株主総会。株主は、あなたです。



今の市政をどう思いますか？

みなさんは、今の横須賀市政に満足していますか?
私の耳に入ってくるのは、不満ばかりです。

ハコモノも、仕事の仕方も、市にはムダが多いんじゃないか？

市民の声を聴こうという姿勢が感じられない。

市長も若いんだから、もっと思い切って改革してほしい

最近、値上げばかりで生活が苦しい。庶民のことを考えて。

議員は何をやっているの？何をしてるか、さっぱり見えない。だったら、報酬も定数も減らせば?

みなさんの税金を集めて仕事をしている市役所。
その仕事ぶりや税金の使い方に、納得いかない方も多いと思います。でも、「どうせ変わらないよ」とあきらめていませんか？

ところで、「株式会社」の場合……

株式会社なら、株主が会社のオーナーです。
ちなみに、出資金が多いほど持ち株が増え、発言権も大きくなります。そして、大株主が自ら経営するオーナー企業もありますが、大きい会社ほど株主は経営に直接タッチせず、経営者を送り込むケースが多いです。つまり、自分たちの利益のために働く「お雇い経営者」を株主総会で選ぶのです。

「横須賀市」も同じです

実は、市役所も株式会社と同様に、オーナーの意向を反映できる仕組みとなっています。

市役所のオーナーは誰か？　それはあなたです。

日本人は、20歳を過ぎれば、男も女も、収入に関係なく株主(有権者)になれます。ただし、会社と違って一人一株(一人一票)しか持てない仕組みになっています。現在、約34万人の株主がいます。
株主は、株主総会(選挙)で自分たちのために働く「お雇い経営者」(議員と市長)を選びます。

なぜ、オーナーである市民の声が届かないのか？

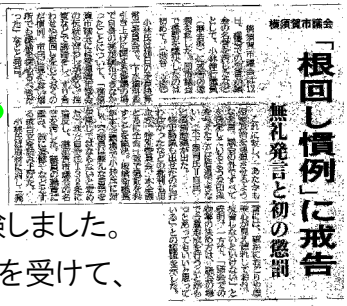
でも、仕組みはあっても、あなたは「自分が横須賀市のオーナーだ」という実感、ありますか？
実感しにくい大きな理由は、役人が強いこと。国も地方も優秀な役人が主導権を握っている。日本企業も従業員が強いのが特徴ですが、会社の場合はそれでもいい。でも市はそれじゃダメ。**本来あくまでも市民が主役**です。そして、**市長以下の職員を、オーナーの意向に従わせて働かせるのが、議員の仕事**です。
取締役(議員)が決めた方向性に沿って、職員のトップである代表執行役(市長)が実務をとりしきる、という役割分担なので、本来は議会のほうが強いのです。

さて、その取締役を選ぶ株主総会が今年の4月に迫っています。しっかりと市役所を監督して、あなたの願いをカタチにできる、そんな議員は誰か？

選ぶのは、オーナーのあなたです。

イラスト提供 わんパグ http://wanpug.com/

第二特集 小林のぶゆき、もう一度、挑戦します。


横須賀市議会
「根回し慣例」に戒告
無礼発言と初の懲罰

←神奈川新聞2013年12月13日朝刊

「フツーの男」の挑戦

学校を出て、サラリーマンになり、結婚して、子供ができ、子育てのために横須賀に家を買って移り住み、普通に暮らしてきました。

そんな**「フツーの男」が「やっぱり政治を変えなきゃ!」と思い立った**のが2007年。地盤・看板・カバン、何もなかったので、政策秘書の資格を取り、議員秘書となって色々なことを勉強。そして「地方から変えよう」と、2011年4月の横須賀市議選に挑戦。

市民目線で「おかしい」と思ったことを訴え続けて、共感いただいたおかげで当選できました。もうすぐ任期4年間が終わろうとしていますが、本当にやりがいのある仕事でした。私も今まで何度か転職してきましたが、「天職」に出会えたと感じています。

「市民感覚」を忘れない

ただ、この間、一貫して「政治のプロ」にはならないように意識してきました。普通に生活する市民の目線を忘れなかったつもりです。

小さい話ですが、芸術劇場からオペラ鑑賞招待状が全議員に贈られてきたときも『オペラ無料招待は「ワイロ」か?』とBlogに書き、それを見た記者が記事にしてくれました。「つまらないこと書くな」と言われたりもしましたが、最終的に招待は中止されました。

「天下り」法人の芸術劇場にも市役所にも、まだまだ市民感覚とのズレがあると思います。

朝日新聞 2014年6月7日 朝刊 湘南版 地方面 13版 2014年(平成26年)6月7日 土曜日 亥月 日 曜
横須賀全市議へ招待状
芸術文化財団、最高3万円分
川崎競輪撤退で
市に賠償3803万円

←朝日新聞2014年6月7日朝刊湘南版地方面←

「フツーの男」の挫折

ただし、議員として挫折も経験しました。

議会は1年前、市からの提案を受けて、「下水道料金を一律17%値上げする」という決定をしました。当然、市民に大きな影響があります。だからこそ私は**「弱者に優しい、違う料金体系だってあるはずだ」**と別案を用意してそれを基に議論しようとしましたが配布を認められなかった。そこで、市民に対してあまりに申し訳なかったので「根回し不足で市民の目に見える所での議論ができず残念」と発言しました。

これが問題視されて懲罰処分を受けることになり、新聞に『「根回し慣例」に戒告』と載ってしまいました。

ただ、確かに言葉は悪かったけれど**「影響を受ける市民のために、議員同士でもっと議論すべきだった」と、今でも思っています。**誰かに負担を強いる以上、それが普通の感覚ではないでしょうか。

「このままでいいのか？」

横須賀市議は、年間約1089万円*の報酬をもらっています。企業ならば取締役にあたります。密な議論をせずに、市が提案した議案を「いい」「悪い」と議決するばかりなら、報酬はこんなに要らない。日当制で十分です。でも、逆に**舵取りの難しい時代だからこそ、取締役同士がしっかり議論して、市民の意向を反映していくべき**だと思うんです。

普通の市民感覚を市に持ち込むために、もう一度、挑戦します。こんな青臭い議員が一人くらいいてもいいじゃないですか。

*よく議員年金についても聞かれますが、もう廃止されています。ただし、過去に受給資格を得た人は、そのままもらい続けています。相当額を市が負担しており、市財政を圧迫しています。

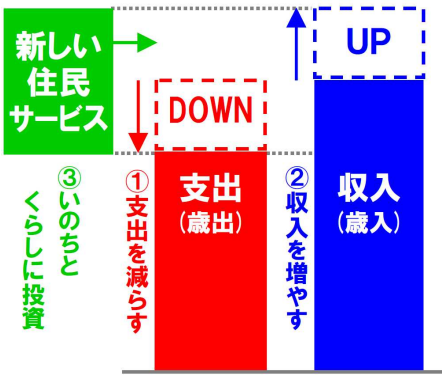
私が、やりたいこと。

「見える」「わかる」「変わる」で、市政をレポートします。

……そう約束して議員になりました。この4年間で発行したチラシは計18号。手配り＆ポスティングで27万枚をお配りしてきました。

市の現状も、実現できたことも、失敗したことも、何でも「見える化」。個別のやりたい政策も、チラシに書いてきました。

ただ、突き詰めると、右の図に書いたような、当たり前の経営を市に持ち込みたい。4年前から全く変わっていません。今後も愚直にがんばります。



応援してください！

- チラシのポスティング
- 駅でのチラシ手配り
- ご自宅への看板設置
- 学生インターン

常時、様々な手が必要です。「応援してあげてもいいよ」と思って下さった方は、お気軽にご連絡下さい。

※政治献金・寄付は頂いていません。

小林のぶゆきの基本政策

見える 誰が何をどう決めてるのかぜんぜん見えない……。

市政をガラス張りにして「見える化」し、意思決定の過程も含め情報公開を進めます。

わかる 難しい説明をされてもよくわからない……。

いま何が問題なのか。いま何が必要なのか。チラシなどを通してわかりやすくお伝えします。

変わる これまで何も変わらなかった。どうせ変わらない……。

現状が見え、問題がわかれば、変えられます。私たちが払った税金が、私たちに本当に必要なことに使われるよう、変えていきます。

今こそ横須賀を 私たちのものに。

横須賀市政について、私の活動について、みなさまのご意見、ご提案、ご感想、疑問などお寄せください。

必ず私、小林伸行が自分で目を通します！

☎070-6640-3927 ✉info@kobayashinobuyuki.com Fax046-801-2177